

# 平成31(2019)年度 東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部総会次第

平成31(2019)年4月14日(日) 10:00～ 都立白鷗高等学校 多目的ホール

司 会 若井清孝(白鷗)

- |                        |     |            |
|------------------------|-----|------------|
| 1. 平成30年度 事業報告         | 委員長 | 筒治和則(福生)   |
| 2. 平成30年度 会計決算報告       | 会計  | 高井俊秀(足立学園) |
| 3. 専門部規約確認             | 委員長 | 筒治和則(福生)   |
| 4. 平成31(2019)年度役員紹介・承認 | 委員長 | 筒治和則(福生)   |

## 平成31(2019)年度役員名簿(案)

部長	<b>勝又 宏(堀越)</b>	
顧問	曾野和之(関東第一)	
委員長	筒治和則(福生)	
副委員長	平 雅行(小川)	
常任委員	若井清孝(白鷗)※ 事務局	
	加藤 隆(蔵前工業)	行田和広(安田学園)
	後藤由一(東海大学菅生)	坂入 崇(葛西南)
	高井俊秀(足立学園)	田中玄太(日本大学豊山)
	田中秀明(明大中野八王子)	谷合大樹(拝島)
	長尾 航(関東第一)	永野兼之(実践学園)
	野島淳司(東京学芸大附)	<b>坂 一成(青井)</b>
	平野 豊(高輪)	二木伸章(堀越)
	渡辺孝慈(大田桜台)	
会計監査	中間 均( <b>神津</b> )	
進行補助委員	小井手剛(明大中野八王子)	小岩孝一(明大明治)
	田村英典(東海大高輪台)	<b>南波里香(豊南)</b>
	<b>福田貴郎(福生)</b>	水谷 聡(実践学園)

- |  |    |             |
|--|----|-------------|
| 5. 平成31(2019)年度予算案承認                       | 会計 | 高井俊秀(足立学園)  |
| 6. 平成31(2019)年度事業計画                        |    | 平 雅行(小川)    |
| 7. その他 ① 登録・申込方法について                       |    | 長尾 航(関東第一)  |
| ② ホームページについて                               |    | 長尾 航(関東第一)  |
| ③ 会場使用・競技進行上の注意                            |    | 渡辺孝慈(大田桜台)  |
| ④ インターハイ特別基金について                           |    | 筒治和則(福生)    |
| ⑤ 体罰防止統一ルールについて                            |    | 筒治和則(福生)    |
| 8. 関東大会予選学校対抗の部組合せ抽選会(平成30年度新人戦ベスト32以上の学校) |    | 平 雅行(小川)    |
|  |    | 行田和広(安田学園)  |
|  |    | 後藤由一(東海大菅生) |
|  |    | 田中秀明(明大八王子) |
|  |    | 永野兼之(実践学園)  |

# 平成30年度 事業報告

## 1. 東京都高等学校春季卓球大会 兼 関東高等学校卓球大会東京都予選

学校対抗 第1位 実践学園  
 (代表5校) 第3位 明治大学附属中野  
 第5位 早稲田実業学校

第2位 日本大学豊山  
 第4位 足立学園

ダブルス 第1位 月舘 駿介 ・ 加藤 健太 (日大豊山)  
 (代表5組) 第2位 松本 累 ・ 北澤 健太郎 (早稲田実業)  
 第3位 櫻井 智哉 ・ 土屋 天人 (実践学園)  
 第3位 甚田 翔風 ・ 石田 武 (明大中野)  
 第5位 岡 太陽 ・ 酒井 秀太 (実践学園)

シングルス 第1位 笠井 智衆 (東海大菅生) 第2位 加藤 健太 (日大豊山)  
 (代表10人) 第3位 松本 累 (早稲田実業) 第4位 遠山 達也 (日大豊山)  
 第5位 佐瀬 大知 (白鷗) 第6位 酒井 秀太 (実践学園)  
 第7位 秋田 悠吾 (実践学園) 第8位 石丸 青樹 (足立学園)  
 第9位 野地 哲平 (明大八王子) 第10位 櫻井 智哉 (実践学園)

## 2. 関東高等学校卓球大会 (6月1日～6月3日 栃木県宇都宮市)

学校対抗 **優勝 日大豊山**  
 3回戦敗退 実践学園  
 2回戦敗退 明大中野・足立学園・早稲田実業

ダブルス **第3位 月舘 駿介 ・ 加藤 健太 (日大豊山)**  
**第3位 松本 累 ・ 北澤 健太郎 (早稲田実業)**  
 3回戦敗退 櫻井 智哉 ・ 土屋 天人 (実践学園)  
 甚田 翔風 ・ 石田 武 (明大中野)  
 2回戦敗退 岡 太陽 ・ 酒井 秀太 (実践学園)

シングルス	4回戦敗退	加藤 健太 (日大豊山)	松本 累 (早稲田実業)
		櫻井 智哉 (実践学園)	
	3回戦敗退	佐瀬 大知 (白鷗)	秋田 悠吾 (実践学園)
	2回戦敗退	笠井 智衆 (東海大菅生)	遠山 達也 (日大豊山)
		酒井 秀太 (実践学園)	石丸 青樹 (足立学園)
		野地 哲平 (明大八王子)	

### 3. 東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校卓球選手権大会東京都予選

学校対抗	第1位 日本大学豊山	第2位 早稲田実業
(代表2校)	第3位 実践学園	第4位 明治大学附属中野

ダブルス	第1位 櫻井 智哉 ・ 土屋 天人 (実践学園)
(代表4組)	第2位 月舘 駿介 ・ 加藤 健太 (日大豊山)
	第3位 甚田 翔風 ・ 石田 武 (明大中野)
	第3位 松尾 仁史 ・ 山中 開理 (明大中野)

シングルス	第1位 金光 宏暢 (大原学園)	第2位 野地 哲平 (明大八王子)
(代表8名)	第3位 笠井 智衆 (東海大菅生)	第4位 松本 累 (早稲田実業)
	第5位 櫻井 智哉 (実践学園)	第6位 加藤 健太 (日大豊山)
	第7位 土屋 天人 (実践学園)	第8位 舟守 勇和 (片倉)

### 4. 全国高等学校卓球選手権大会 (8月3日～8月8日 愛知県豊田市)

学校対抗	2回戦敗退 日大豊山
	1回戦敗退 早稲田実業

ダブルス	5回戦敗退 月舘 駿介 ・ 加藤 健太 (日大豊山)
	2回戦敗退 櫻井 智哉 ・ 土屋 天人 (実践学園)
	松尾 仁史 ・ 山中 開理 (明大中野)
	1回戦敗退 甚田 翔風 ・ 石田 武 (明大中野)

シングルス

**第3位 金光 宏暢 (大原学園)**

3回戦敗退 櫻井 智哉 (実践学園) 加藤 健太 (日大豊山)

2回戦敗退 笠井 智衆 (東海大菅生)

1回戦敗退 野地 哲平 (明大八王子) 松本 累 (早稲田実業)

土屋 天人 (実践学園) 舟守 勇和 (片倉)

## 5. 地区別高等学校卓球大会

東地区 第1位 足立学園 第2位 安田学園  
第3位 篠崎A 第3位 開成学園A

西地区 第1位 都市大付属A 第2位 宝仙学園A  
第3位 筑波大駒場A 第3位 深沢A

南地区 第1位 大田桜台 第2位 東海大高輪台  
第3位 日比谷A 第3位 日本工大駒場A

北地区 第1位 東京成徳A 第2位 淑徳巣鴨A  
第3位 城北A 第3位 大東文化一A

## 6. 多摩地区高等学校卓球大会

団 体 第1位 早稲田実業A 第2位 東海大菅生A  
第3位 桐朋A 第3位 片倉A

シングルス 第1位 北澤 健太郎 (早稲田実業) 第2位 松本 累 (早稲田実業)  
第3位 幾石 光 (桐朋) 第3位 須永 瑞樹 (東海大菅生)

## 7. 東京都高等学校新人卓球大会 兼 関東高等学校新人選抜卓球大会東京都予選

学 校 対 抗 第1位 東海大菅生 第2位 実践学園  
(代表5校) 第3位 日本大学豊山 第4位 明治大学付属中野  
第5位 足立学園

ダブルス 第1位 笠井 智衆 ・ 相川 扶紗生 (東海大菅生)  
第2位 荒井 大志 ・ 小林 竜也 (足立学園)  
第3位 市川 隼秀 ・ 小沼 夢有人 (明大中野)  
第3位 加藤 健太 ・ 行徳 千歳 (日大豊山)

シングルス 第1位 笠井 智衆 (東海大菅生) 第2位 加藤 健太 (日大豊山)  
第3位 中野 剛志 (日大豊山) 第3位 山中 開理 (明大中野)

## 8. 関東高等学校新人・選抜卓球大会 (12月24日～26日 千葉県千葉市)

= I部 (20校) = 第3位 東海大菅生 第7位 実践学園  
第11位 日大豊山

※ 10位までが全国高等学校選抜卓球大会の関東ブロック代表

= II部 (16校) = 第5位 足立学園 第9位 明大中野

## 9. 体罰防止指導者講習会・生徒技術講習会 (2月17日)

バルセロナオリンピック (1992年) 日本代表の仲村錦治郎氏 (株式会社VICTAS) をお招きして講習会を行いました。昨年と同様に午後からは生徒約100名も参加して、実際の練習の中で技術・戦術の考え方や練習する上でのポイントなどをわかりやすく指導していただきました。卓球の技術をけん玉や手品と結びつける視点やご自身の体験談などは大変興味深く、笑顔の多い楽しい講習会でした。

## 10. 全国高等学校選抜卓球大会 (3月25日～28日 福岡県北九州市)

I部 (学校対抗) 東海大菅生 予選リーグ 1勝2敗 予選3位 (予選敗退)

実践学園 予選リーグ 1勝2敗 予選3位 (予選敗退)

II部 (シングルス) 幾石 光 (桐朋) 予選リーグ 1勝1敗 予選2位 (予選敗退)

# 東京都高等学校体育連盟 男子卓球専門部規約

## 第1章 名称 及び 事務局

第1条 本専門部は、東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部と称する。

第2条 本専門部の事務局は、部長指定の高等学校におく。

## 第2章 目的 及び 事業

第3条 本専門部は、東京都高等学校体育連盟の規約に基づき、関係団体と提携し、都内高等学校および中等教育学校後期課程における卓球競技の発展と生徒の健全育成を図ることを目的とする。

第4条 本専門部は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 高等学校卓球競技大会の開催。
2. 高等学校における卓球の技術研修会・審判講習会・指導者講習会等の開催。
3. 関係諸団体との連絡。
4. その他、本専門部の目的達成に必要な事項。

## 第3章 組 織

第5条 本専門部は、東京都高等学校体育連盟規約第6条に基づいて組織する。

第6条 本専門部は、都内高等学校および中等教育学校後期課程の男子卓球部をもって構成する。

## 第4章 役 員

第7条 本専門部に次の役員をおく。

1. 部長 1名
2. 副部長 2名 (委員長 1名 副委員長 1名)
3. 常任委員 副部長を含む若干名
4. 会計監査 若干名
5. 進行補助委員 若干名

第 8 条 部長及び副部長は、本専門部総会において推挙し、東京都高等学校体育連盟理事会の議を経て、東京都高等学校体育連盟会長が委嘱する。

1. 部長は専門部を代表し、会務を総括する。
2. 副部長は部長を補佐し、部長事故あるときはその職務を代行する。
3. 常任委員は加盟校の当該部顧問教職員の中から常任委員会において推挙し、本専門部総会の承認を経て部長が委嘱する。
4. 会計監査は常任委員会において推挙し、本専門部総会の承認を経て部長が委嘱する。
5. 進行補助委員は常任委員会において推挙し、部長が委嘱する。

第 9 条 本専門部に顧問をおくことができる。顧問は常任委員会において推挙し、部長が委嘱する。顧問は本専門部の運営に関して部長の諮問に応じる。

第 10 条 役員の任期は2ヶ年とする。但し再任は妨げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

## 第5章 会 議

第 11 条 本専門部に次の会議をおく。

1. 専門部総会
2. 常任委員会

第 12 条 専門部総会は加盟各校の代表者(顧問教職員または代表生徒1名)によって構成される。専門部総会は年1回部長が招集し、次の事項について審議する。

1. 事業に関する事項。
2. 決算の承認及び予算に関する事項。
3. その他重要な事項。

第 13 条 常任委員会は部長・副部長・常任委員によって構成される。常任委員会は部長が招集し、本専門部の会務を審議し執行する。

## 第6章 会 計

第 14 条 本専門部の経費は、加盟費(7,500円)・準加盟費・登録費・大会参加費及び補助金・寄付金・その他の収入をもってあてる。

第 15 条 本専門部の予算・決算は本専門部総会の議を経て、東京都高体連理事会の承認を得るものとする。

第 16 条 本専門部の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第7章 附 則

1. 部長は常任委員会の承認を経て本専門部の運営に関する細則を定めることができる。
2. 本規約の改正は、常任委員会が発議し、本専門部総会の承認を経なければならない。
3. 本規約は平成25年4月13日より改正施行する。

# 平成31年度 東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部 事業予定

月	日	曜	行 事	会 場・備 考
4月6日	土		平成31年度関東学連合同強化事業	中央大学 9:00～
4月13日	土		平成31年度都総体総合開会式	三輪田学園高校
4月14日	日		平成31年度専門部総会	白鷗高校 10:00～
4月20日	土		関東大会予選ダブルス	エスフォルタアリーナ八王子 13:00～ 多摩工業高校 13:00～
4月27日	土		関東大会予選ダブルス決勝	駒沢屋内球技場 13:00～
4月28日	日		関東大会予選シングルス	駒沢屋内球技場 9:00～ 武蔵野の森総合スポーツプラザ(サブ) 9:00～
4月29日	祝		関東大会予選シングルス	日野市民の森ふれあいホール 9:00～ 武蔵野の森総合スポーツプラザ 9:00～
5月3日	祝		関東大会予選シングルス決勝	明大明治高校 9:00～
5月4日	祝		関東大会予選学校対抗	日野市民の森ふれあいホール 9:00～ 多摩工業高校 9:00～
5月5日	祝		関東大会予選学校対抗決勝	多摩工業高校 9:00～
5月6日	休		都総体(インターハイ予選)ダブルス	多摩工業高校 9:00～ 白鷗高校 9:00～ 明大明治高校 9:00～
5月11日	土		都総体(インターハイ予選)ダブルス決勝	駒沢体育館 13:00～
5月12日	日		都総体(インターハイ予選)シングルス	白鷗高校 9:00～ 明大明治高校 9:00～
5月18日	土		都総体(インターハイ予選)シングルス	駒沢体育館 13:00～ 多摩工業高校 13:00～
5月19日	日		都総体(インターハイ予選)シングルス	安田学園高校 9:00～ 白鷗高校 9:00～
5月25日	土		都総体(インターハイ予選)シングルス決勝	武蔵野の森総合スポーツプラザ 13:00～
5月31日	金		第68回関東高等学校卓球大会	埼玉県深谷市 ビッグタートル
6月2日	日			
6月8日	土		都総体(インターハイ予選)学校対抗	駒沢体育館 13:00～
6月9日	日		都総体(インターハイ予選)学校対抗	多摩工業高校 9:00～ 明大明治高校 9:00～
6月16日	日		都総体(インターハイ予選)学校対抗決勝	多摩工業高校 9:00～
6月下旬			国体代表選考リーグ戦	会場未定
7月23日	火		地区別大会	葛飾区総合スポーツセンター 9:00～
7月29日	月		多摩地区大会学校対抗	日野市民の森ふれあいホール 9:00～
7月30日	火		多摩地区大会シングルス	日野市民の森ふれあいホール 9:00～
7月31日	水		多摩地区大会(予備)	多摩工業高校 9:00～
8月15日	木		第88回全国高等学校卓球選手権大会	鹿児島県鹿児島市 鹿児島アリーナ
8月20日	火			
9月初旬 ～下旬			全日本卓球選手権ジュニアの部予選	エスフォルタアリーナ八王子他
10月～ 11月下旬			東京都高等学校新人卓球大会	エスフォルタアリーナ八王子・上板橋体育館他
9月28日	土		第75回国民体育大会	茨城県日立市 池の川さくらアリーナ
10月2日	水			
12月25日	月		第23回関東高等学校新人卓球大会	東京都八王子市 エスフォルタアリーナ八王子
12月27日	水		第47回関東高等学校選抜卓球大会	
1月26日	日		東京・神奈川高体連強化練習会	神奈川県横浜市 港北スポーツセンター(予定)
2月中旬			指導者講習会	未定
3月25日	水		第47回全国高等学校選抜卓球大会	千葉県千葉市 ポートアリーナ
3月28日	土			



# 東京高体連男子卓球専門部ホームページのご案内

ホームページアドレス <http://tkdts.info/>

東京高体連男子卓球専門部ホームページでは以下の情報を公開しています。

1. 行事予定・総会案内(PDF)
2. 登録加盟手続き・大会申込み手続き
  - ① 東京都高等学校体育連盟および日本卓球協会への加盟・登録手続きについて(PDF)
  - ② 学校整理No. (PDF)
  - ③ 東京高体連加盟登録用紙 (Excel)

**注意**：登録の際には事務局にデータをメール送信したうえで、印刷して校長印を受けたものを総会または大会会場で提出してください。(原則郵送不可)
  - ④ 各大会要項 (PDF)・申込書 (Excel)

**注意**：申込みの際には印刷して校長印を受けたものを総会または大会会場で提出してください。(原則郵送不可) メール送信は不要です。
  - ⑤ 各大会組み合わせ (PDF)
3. その他の情報閲覧
  - ① 大会記録 (PDF)
  - ② 会場案内 (リンク)
  - ③ 協会・団体ホームページ (リンク)
4. 事務局連絡住所・メールアドレス

## ホームページの利用について

男子卓球専門部では円滑な情報の伝達を目的に『東京高体連男子卓球専門部』ホームページを開設しています。ただいま平成30年度用の関係書類を公開中です。ダウンロードしてご利用ください。新規に加盟を希望する学校は事務局アドレスあてにメールでご連絡ください。案内・必要書類を郵送いたします。

## 会場使用・試合進行についての注意

以下の注意事項は、東京高体連男子卓球専門部が主催・主管するすべての試合に共通の注意事項です。参加各校はすべての部員・応援保護者などに周知・徹底してください。

### 《会場使用について》

#### 1. ゴミはすべて持ち帰る

現在では、ほとんどの自治体がゴミの分別回収を徹底するとともに、ゴミ収集を有料化しています。君たちが残していったゴミは、誰かが労力を使って分別し、お金を出して片付けなければなりません。

#### 2. 上・下足の区別を厳守する

外履きのままでフロアに上がり込んだり、卓球シューズのままで屋外に出たりしないでください。外履きを屋内に持ち込む際には**各自で靴袋を用意**して、土を屋内に持ち込まないようにしてください。上・下足のルールは施設ごとにさまざまなので、詳細はそれぞれの施設のルールに従ってください。

#### 3. 持ち物をしっかり管理する

財布や携帯電話などの紛失・盗難や、ラケット・ユニフォームなどの忘れ物が少なくありません。盗難・紛失の責任は持てません。また、保管場所がありませんので、**忘れ物・落とし物は処分します。試合会場（公営の体育館や学校の事務室）に問い合わせをしないでください。**

#### 4. 交通について

選手の会場への交通は、原則として公共交通機関を利用してください。**自動車・バイクの利用は禁止**します。また、どの会場も駐車場は確保していませんので、**引率の先生・応援の保護者やOBも自動車での来場はご遠慮ください。**（保護者による送迎は保護者の責任において行ってください。ただし、その場合も駐車場は利用できません。）

#### 5. その他

各会場ごとに細かなルールは違いますが、施設・設備は大事に使い、掲示や放送などに注意してマナーを守ってください。**マナーが悪いと会場を使用できなくなります。**

## 《試合進行について》

### 1. 試合はすべて現行の日本卓球ルールを適用しておこないます。

(全試合5セットマッチ、一部上位試合のみ選球・タイムアウト制を適用。)

#### ①ユニフォームの着用

ルールでは競技用の服装について「日本卓球協会認定のユニフォーム」と定められています。上下とも「日本卓球協会認定」のワッペン（JTAAのマーク）の付いたユニフォームを着用してください。それ以外の服装（体育用のTシャツ・ハーフパンツなど）では試合はできません。また、**高体連の競技規定により広告付きユニフォームは使用できません。**

**※ 「競技用シャツ（袖・襟を除く）、ショーツまたはスカートの主たる色は、使用するボールの色と明らかに違う色でなければならない。」（平成27年9月改正）**

#### ②ゼッケンの着用

選手登録の際に配布される日本卓球協会指定のゼッケンに、姓（同チームに同姓が複数人いる場合、姓のあとに名の1文字など）・学校名を明記して、ユニフォームの背中に着用してください。年度当初、ゼッケンのプリントが間に合わないなどの事情がある場合には、事前に申し出て許可を受けた上で各自で用意した布製のゼッケンをつけてください。

#### ③接着剤・ラバークリーナーの使用制限

2008年のルール改正で揮発性溶剤を含む接着剤・ラバークリーナーはすべて禁止され、補助剤も禁止されました。また、公認の接着剤・ラバークリーナーも会場内の指定された場所でしか使うことはできません。これらに違反すると出場停止などの厳しい措置をとります。

#### ④正規のサービス

「サービス動作を隠さない」という主旨で、オープンハンド・トスは垂直に16cm以上・フリーハンドの位置が定められています。ルールに沿ったフェアなサービスを心がけてください。

### 2. 個人戦（シングルス・ダブルス）は勝者報告・敗者審判で進行します。

#### ①試合結果の報告

勝った選手がすぐに進行席に報告してください。勝者報告を忘れると失格になります。決勝大会上位の試合以外、試合結果記録用紙はありません。

#### ②審判

特別な指示がない限り、負けた選手はボールを確保してコートに残り、次の試合の審判をしてください。敗者審判を忘れて帰ると出場停止などのペナルティの対象となります。ただし、各コート最初の試合はシード選手にお願いします。

#### ③進行の放送（コール）

基本的には各コートで次に行う試合の対戦者を放送で呼び出します。呼ばれた選手はコートのうしろに試合ができる服装で待機し、前の試合が終わったらずぐにコートについてください。

### 3. 団体戦は勝者報告・相互審判で進行します。

## 広告付きユニフォームの使用禁止について

最近、メーカーのネームやロゴが大きく入った安価な『広告付きユニフォーム』が多く出回っていますが、高等学校体育連盟の活動は『学校教育の一環として行われるものであり、アマチュア・スポーツマン精神に則り実施されなければならない。』（高等学校体育連盟競技者及び指導者規程）ことから、高等学校体育連盟が主催する大会ではこれらの『広告付きユニフォーム』の着用は認められておりません。

平成30年度7月以降、**高体連主催大会においては『広告付きユニフォームの使用禁止』を徹底することといたしましたので**、高等学校体育連盟の規定及び日本卓球ルールを正しくご理解いただくとともに、規定・ルールの遵守をお願いいたします。

### 広告付きユニフォームとは

日本卓球ルールでは「**通常用いる競技用服装メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームは、全面積が24cm<sup>2</sup>以下であること。**」（日本卓球ルール2.2.5.8.1）とされており、このほかに認められるのは「**競技者が所属するチームに関する広告（高体連主催大会の場合は選手が所属する学校の校章や学校名など）**」のみになります。

これ以外の商標・シンボルマーク・ネームが入ったユニフォームはすべて『広告付きユニフォーム』となります。メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームの全面積が24cm<sup>2</sup>を越えているユニフォーム（胸や背中に大きく「**■ndo■**o」とか「**▲ON▲C**」と入っているなど）や、所属チーム以外のチーム名（通っている卓球スクールの名前など……サイズは24cm<sup>2</sup>以下でも）が入ったユニフォームもすべて『広告付きユニフォーム』です。

26 全国高体連第42号  
平成26年5月20日

各都道府県高等学校体育連盟 会長 殿  
同 上 理事長 殿  
(公財) 全国高体連各専門部 部長 殿  
同 上 委員長 殿

(公財) 全国高等学校体育連盟  
会長 小野 力



### 体罰根絶全国共通ルールの制定について (通知)

日頃より本連盟の諸事業及び高等学校における運動部活動の充実・発展はじめ、インターハイの開催にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、体罰の根絶に向けて、本連盟は一昨年度来、「運動部活動における体罰根絶に向けて」の通知文を発出し、また、日本中体連と合同で「体罰根絶宣言」を発信しました。昨年度には、4月にスポーツ関係5団体と協力し、「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」を採択しました。また、その中で具体的な取組が行われるよう、5月に高体連独自の「行動宣言」を出しました。さらに、昨年度インターハイの全競技会場には、根絶スローガンを記した横断幕を掲出するなど、様々な取組を行ってまいりました。

しかし、社会全体で体罰や暴力行為等を一扫しようとの機運が高まっている中であるにもかかわらず、運動部活動における体罰が散見されることは、誠に残念なことであります。

今後、こと体罰の問題は、全国共通の問題として捉え直し、各都道府県高体連が共通して指導する部分を「全国共通ルール」として設定し、この共通ルールの趣旨・内容を全ての加盟校及び指導者に対し周知徹底する必要があると考えています。その共通理解のもとに、各加盟校をはじめ、各都道府県高体連、各競技専門部及び全国高体連が、組織をあげて体罰根絶に向け指導することが、根絶宣言の具現化につながると考えます。

このことは、公益財団法人としての全国高体連や各加盟校を直接管轄する立場にある各都道府県高体連の責務でもあります。関係機関と連携を図りながら、高体連の各組織が一丸となって、「全国共通ルール」のもと体罰を根絶させる取組を行うことが、全国120万人の登録生徒の健全育成に良い影響を及ぼし、広く社会からの信頼を得ることにつながると考えます。

つきましては、別紙の「全国共通ルール」の制定のねらい、内容、運用等を管下の加盟校及び全ての指導者に周知徹底し、体罰根絶の取組を一層充実させるようお願いいたします。

また、本ルールの周知理解を促すため、別添えの「各加盟校の校長先生方へ」及び「運動部活動指導者の皆様方へ」を作成いたしました。併せて、ご活用方お願い申し上げます。

<別紙>

## 1 体罰根絶全国共通ルール制定のねらい

本ルールは、本連盟「競技者及び指導者規程」の第6条（指導者のあり方）及び第7条（罰則）に基づき、「体罰を行った指導者は、高体連主催大会には出場できません。」という高体連としての考え方を全国共通の具体的ルールとして制定する。体罰を行った指導者への詳細な罰則規定をつくるのが目的ではなく、本ルールの趣旨や内容を全ての運動部活動指導者、生徒、保護者、そして、社会全体にまで広く周知することにより、運動部活動にかかわる体罰の発生を未然に防止することをねらいとする。

## 2 体罰根絶全国共通ルール

- (1) 指導者（監督、コーチ、顧問教諭、外部指導者等）に関するルール
- ア 体罰を行った指導者については、原則として当該体罰に対する各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等が確定後1年間、高体連主催大会に出場できないものとする。（選抜大会を含む）
- イ 体罰を行った指導者については、原則として高体連の役職を解くものとする。また、当該体罰に対する各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等が確定後1年間、原則として高体連の役職に充てない。
- (2) 本ルールは、平成26年7月1日より施行適用する。

## 3 体罰根絶全国共通ルールの運用について

- (1) 本ルールにおける体罰は、平成25年5月文部科学省の「運動部活動での指導のガイドライン」にある「体罰等の許されない指導と考えられるものの例」を参考にして、適用の対象とする。
- 参考：[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/jyujitsu/1335529.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1335529.htm)
- (2) 本ルールの適用に当たっては、該当指導者に対する各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等が確定した後、該当校の校長が、該当指導者本人の了解を得た上で、別紙様式により各都道府県高体連に報告する。
- (3) 運動部活動にかかわる場面での体罰について、本ルールを適用する。（ミーティング中、部員への個別指導中、運動部の寮生活等の場面を含む。）
- (4) 各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等の内容に、大会出場停止や高体連の役職停止の期間がある場合は、その期間を本ルールの1年間の中を含むこととする。
- (5) 本ルールを適用される指導者は、適用される旨の連絡を受けた日から2週間以内に、（公財）全国高等学校体育連盟会長宛に不服申立書を提出して不服を申し立てることができる。ただし、本ルールそのものに関する不服申立てを除く。

(別紙様式)

平成〇〇年〇月〇日  
〇〇〇高第〇〇〇号

〇〇県高等学校体育連盟会長  
〇 〇 〇 〇 様

〇〇〇〇高等学校長  
〇 〇 〇 〇  
(公印)

体罰根絶全国共通ルールにかかわる報告について

標記の件について、下記の通り報告します。

記

- 1 体罰の発生日時・場所
- 2 当該指導者の職・氏名
- 3 当該部活動名
- 4 当該体罰の概要
- 5 各教育委員会又は各学校の指導措置・処分等を決定した年月日
- 6 備考